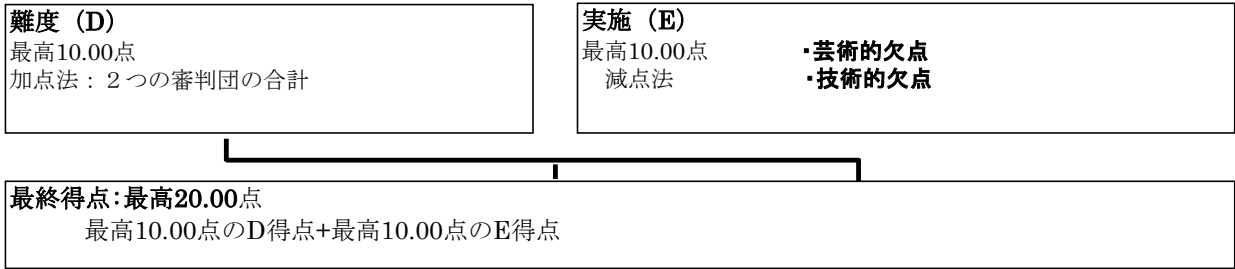


\*2017～2020年版(公財)日本体操協会競技規則・採点規則・シニアルールを適用する。

総則

点数配分と計算



個人演技【得点の配点(20点)】

| 難度 (D) 10点満点 (加点)  | 実施 (E) 10点満点 (減点)   |                           |
|--|---|---------------------------|
| ・身体難度(BD) 最低3個 最高9個<br>各身体グループから最低1個の難度<br>(ジャンプハ バランス <b>T</b> ローテーション <b>o</b> )<br>基礎手具技術グループまたは基礎でない手具技術グループを伴って<br>・ダンスステップコンビネーション(S) 最低1つ<br>基礎手具技術グループまたは基礎でない手具技術グループを伴って<br>利き手でない手での最低1つの手具技術要素を伴って (フープ・ボール・リボン)<br>・回転と投げを伴ったダイナミック要素(R) 最低1個<br>・手具難度(AD) 最低1個<br>・基礎手具技術要素を各グループから最低1個。 | 芸術的欠点<br>芸術的構成<br>・構成の統一性<br>アイデアのガイド:特徴<br>つなぎ<br>・音楽と動き<br>リズム<br>ダイナミックな変化<br>・身体の表現<br>・多様性 | 技術的欠点<br>・身体の動き<br>・手具の技術 |

団体演技【得点の配点(20点)】

| 難度 (D) 10点満点 (加点)   | 実施 (E) 10点満点 (減点)   |                           |
|---|---|---------------------------|
| ・交換を伴う難度と伴わない難度 最高9個<br>交換を伴わない身体難度(BD) 最低4個<br>交換を伴う交換難度(ED) 最低4個<br>各身体グループから最低1個の難度<br>(ジャンプハ バランス <b>T</b> ローテーション <b>o</b> )<br>基礎手具技術グループまたは基礎でない手具技術グループを伴って<br>・ダンスステップコンビネーション(S) 最低1つ<br>基礎手具技術グループまたは基礎でない手具技術グループを伴って<br>・回転と投げを伴ったダイナミック要素(R) 最高1個<br>・連係(C) 最低4個<br>身体の回転を伴わない連係/身体の回転を伴う連係 | 芸術的欠点<br>芸術的構成<br>・手具/選手の接触<br>・アイデアのガイド:特徴<br>・リズム<br>・ダイナミックな変化<br>・身体の表現<br>・多様性 | 技術的欠点<br>・身体の動き<br>・手具の技術 |

高体連ルールについて(2017年2月決定)

1. 許容について

①身体難度BDについて

団体・個人ともにシニアルールどおりとする。ただし、団体においては全員が難度を実施すること。  
 身体難度の開脚については3名以上の選手が完全に実施し、他の1～2名の選手が限りなく近い形で実施した場合、3名以上の選手が実施した難度を認める。

②申告書について

全国大会では申告書は採用しない。但し、各都道府県やブロックの大会ではその限りでない。  
 (その場合、申告書は手書きでも良い。申告書の間違いによる減点はしない。)

③伴奏音楽について

団体や個人に言葉を使った伴奏音楽を用いて良い。個人は2種目中2種目に利用できる。国体の個人競技では1チーム最大4名に言葉を使った伴奏音楽を用いても良い。

④団体のリボンの長さは5m50cm以上とする。

## 2. 服装について

- ①レオタードについては日本体操協会採点規則を適用する。  
 ②練習着については、素肌を出さないことを条件に、セパレートタイプの着用を認める。  
 (キャミソールタイプの細い肩ひもは認めない。)  
 ③化粧・髪飾り、ピン等の光るものの使用禁止。(リボンを含む)  
 ④マークはレオタードの柄と区別がつくように、第Ⅰコール、第Ⅱコールで確認する。  
 ⑤マークは学校名又は校章とする。(校名は略称でも可能。)但し、頭文字のみは認めない。  
 ⑥マークを付ける位置については、ウエストラインより上とする。  
 マークの大きさ:次のいずれかの形状を包含する(上回る)大きさであることとする。  
 凹凸のある形状のマークでは、凸出部を直線で結んだ形状をその大きさとする。  
 (1)4.5cm×4.5cmの正方形  
 (2)4.0cm×5.0cmの長方形  
 (3)一辺が5.0cmの三角形  
 (4)直径が4.5cmの円  
 (5)一辺が4.5cmで辺の交わる角度が60°と120°の菱形
- ⑦服装減点…0.3

## 《同点順位の決定方法について》

## 団体競技

1. Eスコアの高いチームを上位とする。
2. (上記1)において同点の場合、最も低い技術減点(ET)を有するチームを上位とする。
3. (上記2)においても同点の場合、Dスコアの高いチームを上位とする。
4. (上記3)においても同点の場合、主催団体に一任する。(当該監督による抽選など)

## 個人競技

1. 2種目のEスコアの合計が高い選手を上位とする。
2. (上記1)においても同点の場合、2種目において技術減点(ET)が低い選手を上位とする。
3. (上記2)においても同点の場合、2種目のDスコアの合計が高い選手を上位とする。
4. (上記3)においても同点の場合、主催団体に一任する。(当該監督による抽選など)

\*全国選抜個人競技については(公財)日本体操協会採点規則にある通りとする。(競技規則5.2.1.2 個人総合決勝)

## 国体における同点順位決定方法

- 1.個人4種目のEスコアの平均と団体のEスコアの合計が高いチームを上位とする。
- 2.(上記1)においても同点の場合、個人4種目の技術減点(ET)スコアの平均と団体の技術減点(ET)スコアの合計点が低いチームを上位とする。
- 3.(上記2)においても同点の場合、個人4種目のDスコアの平均と団体Dスコアの合計点が高いチームを上位とする。
- 4.(上記3)においても同点の場合、主催団体に一任する。(当該監督による抽選など)

## 審判編成基準

\* 開催県審判は最大2名とする。

| 個人<br>競技 | 種目A | 上級審判①<br>審判本部 |              | 上級審判②<br>審判本部 |              | 上級審判③<br>審判本部 |              |              |              |              |              |
|----------|-----|---------------|--------------|---------------|--------------|---------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
|          |     | D1            | D2           | D3            | D4           | E1            | E2           | E3           | E4           | E5           | E6           |
|          |     | 技術部/<br>ブロック  | ブロック/<br>開催県 | 技術部/<br>ブロック  | ブロック/<br>開催県 | 技術部/<br>ブロック  | ブロック/<br>開催県 | 技術部/<br>ブロック | 技術部/<br>ブロック | 技術部/<br>ブロック | ブロック/<br>開催県 |
|          | 種目B | D1            | D2           | D3            | D4           | 技術部/<br>ブロック  | ブロック/<br>開催県 | 技術部/<br>ブロック | 技術部/<br>ブロック | 技術部/<br>ブロック | ブロック/<br>開催県 |
| 団体<br>競技 | 団体  | 上級審判①<br>審判本部 |              | 上級審判②<br>審判本部 |              | 上級審判③<br>審判本部 |              |              |              |              |              |
|          |     | D1            | D2           | D3            | D4           | E1            | E2           | E3           | E4           | E5           | E6           |
|          |     | 技術部/<br>ブロック  | ブロック/<br>開催県 | 技術部/<br>ブロック  | ブロック/<br>開催県 | 技術部/<br>ブロック  | ブロック/<br>開催県 | 技術部/<br>ブロック | 技術部/<br>ブロック | 技術部/<br>ブロック | ブロック/<br>開催県 |
|          |     | 線審(2名)        |              |               |              | 開催県           |              |              |              |              |              |
|          |     | 計時(1名)        |              |               |              | 開催県           |              |              |              |              |              |
|          |     | 補審(1名)        |              |               |              | 開催県           |              |              |              |              |              |
|          |     | CJ(1名)        |              |               |              | 開催県           |              |              |              |              |              |